

人事委員会議事録（第1666回）

1 開催日時

令和3年8月26日（木）15：30～16：25

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員長	松田直人
委員	鈴木尉久
委員	長尾真
事務局職員	西村嘉浩
任用課長	森本剛史
給与課長	吉川昭裕
任用課副課長兼給与課副課長	岡野揮代美

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1665回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

行政A（大卒程度）採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（8月27日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

総合土木職の受験者が集まりにくい理由は何か。

（事務局）

これまで県土整備部では、部局長以下でチームを組み、大学の研究室を直接訪問してリクルート活動を行ってきたが、コロナ禍で訪問できない状況が続いており、その影響が大きいと考えている。

（委員）

今回、技術系職種は、2次試験で筆記試験と面接試験との配点割合を見直したが、可否にどの程度影響があったのか、専門性の確保という目的は達成できたのかなどを検証しておく必要がある。

報告事項1

警察官採用試験（第1回）の実施結果

任用課長が、標記試験の実施結果を報告した。

(委員)

ネット犯罪等の対策強化が求められる中、サイバー捜査区分の受験者をもっと確保できないのか。

(事務局)

受験資格として情報処理技術者等の資格に加え、2年の実務経験を求めており、少しハードルが高いのかもしれない。

(委員)

警察官の職務の特殊性から、性別を分けた採用区分が必要なのは理解できるが、女性や男女不問の採用割合を増やす動きはないのか。

(事務局)

採用時の割合は目標設定していないが、今年3月から、警察官に占める女性割合の目標をこれまでの10%から引き上げ、令和8年4月1日までに12%とすることとした。なお、令和3年4月1日時点では、女性警察官の割合は9.8%となっている。

(委員)

配属先を工夫するなどして、性別を問わず採用できるよう取り組む必要があるのではないかと。知能的犯罪を扱う捜査第二課などは女性の方が能力を発揮できると思う。性別を分けて募集するのなら、各区分ごとに必要性をもう少し説明するべきである。

報告事項2

給与勧告等に関する要請等

給与課長が、全国人事委員会連合会会長に対する公務労協地方公務員部会等からの要請書の内容を報告した。

(委員)

公務公共サービス労働組合協議会等の全国組織が全国人事委員会連合会に対して勧告等の要請を行う意図はどういったところか。

(事務局)

労働者側の意見を代表して伝えるとともに傘下の職員団体による人事委員会勧告に向けた要請等取組みが円滑に行われるよう、各人事委員会が勧告作業に取りかかる人事院勧告直後の段階で全国人事委員会連合会に対して要請を行っている。

(委員)

本県の職員団体においても個別に人事委員会に対し要請が行われるということか。

(事務局)

9月上旬に職員団体からの人事委員会勧告に向けた要請を受ける場を設けることとしている。

閉 会